

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 11 月 30 日 (2017.11.30)

【公表番号】特表 2015-533891 (P2015-533891A)

【公表日】平成 27 年 11 月 26 日 (2015.11.26)

【年通号数】公開・登録公報 2015-074

【出願番号】特願 2015-532155 (P2015-532155)

【国際特許分類】

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

C 0 9 D 5/02 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 0 9 D 133/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 D 201/00

C 0 9 D 5/02

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 133/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 29 年 10 月 19 日 (2017.10.19)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

水性コーティング組成物であって、

0.60 ~ 0.99 μm の平均直径を有する多段屈折率分布型 (grin) 組成物コポリマー粒子、0.60 ~ 0.99 μm の平均直径を有し、かつ理論ガラス転移温度 (T_g) が 20 またはそれ以下のゴム状コアを有する多段コポリマー粒子、およびそれらの混合物からなる群から選択される第 1 固体ポリマー粒子と、

- 60 ~ 120 の理論 T_g と 50 nm ~ 500 nm の平均粒子直径を有する第 2 固体ポリマー粒子とを含み、

前記第 1 固体ポリマー粒子の前記第 2 固体ポリマー粒子に対する乾燥重量比が 0.15 : 1 ~ 10 : 1 であり、そして前記水性コーティング組成物が 10 体積 % 未満の無機エキстенダー粒子を含む、

水性コーティング組成物。

【請求項 2】

前記第 1 固体ポリマー粒子が、アクリル多段コポリマー粒子、ビニル多段コポリマー粒子、多段合成ゴムコポリマー粒子、多段ウレタンコポリマー粒子、水分散性グラフトコポリマー粒子、それらの混合物、それらの組み合わせ、および単段架橋 (コ) ポリマーとのそれらの混合物からなる群から選択される、請求項 1 に記載の水性コーティング組成物。

【請求項 3】

前記第 1 固体ポリマー粒子および前記第 2 固体ポリマー粒子がアクリルポリマーである、請求項 1 に記載の水性コーティング組成物。

【請求項 4】

前記第 2 固体ポリマー粒子が 2 段アクリルエマルジョンコポリマー粒子である、請求項 3 に記載の水性コーティング組成物。

【請求項 5】

顔料粒子をさらに含む、請求項 1 に記載の水性コーティング組成物。

【請求項 6】

コーティングを提供するための方法であって、

(a) 請求項 1 に記載の前記水性コーティング組成物を形成し、

(b) 前記コーティング組成物を基体に施用し、そして

(c) 前記コーティング組成物を乾燥するか、または乾燥させること
を含む、方法。

【請求項 7】

85°鏡面光沢度の20°鏡面光沢度に対する比が33以上である、請求項 6 に記載の方法によって形成されるコーティング。

【請求項 8】

顔料粒子をさらに含む、請求項 7 に記載のコーティング。

【請求項 9】

前記コーティングがその臨界顔料体積濃度以下である、請求項 8 に記載のコーティング。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0001

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0001】

本発明は、水性コーティング組成物、それからコーティングを提供するための方法、および特定の光沢プロフィールを有する透明または着色ポリマーコーティングに関する。特に、本発明は、 $0.60 \sim 0.99 \mu\text{m}$ の平均直径を有する多段屈折率分布型 (graded refractive index) (grin) 組成物コポリマー粒子、 $0.60 \sim 0.99 \mu\text{m}$ の平均直径を有し、かつ理論ガラス転移温度 (T_g) が 20 またはそれ以下のゴム状コアを有する多段コポリマー粒子、およびそれらの混合物からなる群から選択される第1固体ポリマー粒子と、 $-60 \sim 120$ の理論 T_g および $50 \text{ nm} \sim 500 \text{ nm}$ の平均粒子直径を有する第2固体ポリマー粒子とを含む水性コーティング組成物であって、第1固体ポリマー粒子の第2固体ポリマー粒子に対する乾燥重量比が $0.15 : 1 \sim 10 : 1$ である水性コーティング組成物に関し、この水性コーティング組成物は10体積%未満の無機エキステンダー粒子を含む。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0005

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0005】

本発明の第1の態様において、 $0.60 \sim 0.99 \mu\text{m}$ の平均直径を有する多段屈折率分布型 (grin) 組成物コポリマー粒子； $0.60 \sim 0.99 \mu\text{m}$ の平均直径を有し、かつ理論ガラス転移温度 (T_g) が 20 またはそれ以下のゴム状コアを有する多段コポリマー粒子；およびそれらの混合物からなる群から選択される第1固体ポリマー粒子と、 $-60 \sim 100$ の理論 T_g および $50 \text{ nm} \sim 500 \text{ nm}$ の平均粒子直径を有する第2固体ポリマー粒子とを含む水性コーティング組成物であって、前記第1固体ポリマー粒子の前記第2固体ポリマー粒子に対する乾燥重量比が $0.15 : 1 \sim 10 : 1$ であり、そして前記水性コーティング組成物が10体積%未満の無機エキステンダー粒子を含む、水性コーティング組成物が提供される。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 0 9

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 0 9 】

本発明の水性コーティング組成物は、 $0.60 \sim 0.99 \mu\text{m}$ の平均直径を有する多段屈折率分布型 (g r i n) 組成物コポリマー粒子； $0.60 \sim 0.99 \mu\text{m}$ の平均直径を有し、かつ理論ガラス転移温度 (T g) が 20 またはそれ以下のゴム状コアを有する多段コポリマー粒子；およびそれらの混合物からなる群から選択される第1固体ポリマー粒子を含む。本明細書において「水性」によって、組成物の連続相が主に水、好ましくは70重量%を超える水であり、連続相の任意の他の成分が水溶性溶媒、オリゴマー、ポリマー、およびその他であることを意味する。